ユニリタマガジン



「システム管理者感謝の日イベント」

開催決定!

Re.Connect 2026

共感をカタチにしユニークを創造するユニリタグループへ

「先が読めない不確実な時代」と評されるようになり数年が経過しました。ビジネスのセオリーも刻一刻と変化しており、多くの企業が競争力の最大化に向けて今まで以上の強さとしなやかさを身に付けるべくデジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組んでいます。さらに社会全体に対するサステナビリティへの要請が高まってきたことを受け、企業は持続可能な社会の実現に向けた企業価値向上を求められる時代となりました。

当社グループは、これまであらゆる業種・業界のお客様へプロダクトサービス、クラウドサービス、プロフェッショナルサービスを提供してまいりました。今後は外部環境をとらえた企業のIT課題解決に加え、持続可能な社会の実現を視野に入れ、社会課題解決の領域にもより一層取り組んでまいります。

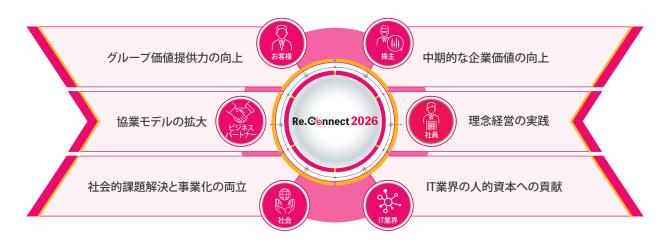


代表取締役 社長執行役員 北野 裕行

ユニリタグループの新たな中期経営計画「Re.Connect 2026」

ユニリタグループでは、これまでにお客様のIT課題、事業課題や社会課題解決を支援するために、DX推進やクラウドシフトといった環境の変化に対応してきました。お客様のニーズが「モノ」から「コト」へと変化する中で、クラウドシフトやカスタマーサクセス、サブスクリプションなど、新しいビジネスモデルの展開に取り組んできました。

今回、新たに策定した新中計「Re.Connect 2026」では、これまでよりもユニークな価値を提供するために、お客様を含めた全てのステークホルダーとの「つながり」のあり方を見直し、ユニリタグループのビジョンである「共感をカタチにし、ユニークを創造するユニリタグループへ」の実現に向けて、挑戦し続けます。



そして以下の重要戦略を策定し、それを通じて「Re.Connect 2026」の目標達成に向けた取り組みを推進していきます。

ユニリタグループを取り巻く「経済・社会」や「お客様」、そして「IT・ 先進技術」などの動向を的確にとらえ、事業への影響と課題を認識 し、グループ経営資源を活かした「サービス提供事業の拡大」「新た な価値提供モデルの確立」「事業プロセスの変革」を事業戦略とし ました。また、「ユニリタグループ理念を軸とした持続的な経営と価値創造」を経営戦略と定めました。

この新中計「Re.Connect 2026」の重要戦略および各施策を着実に実行することで、お客様の期待に応えるだけでなく、社会に貢献することを目指しています。

「Re.Connect 2026」重要戦略		
事業戦略	サービス提供事業の拡大	●クラウド成長領域への投資の拡大②お客様の最適なモダナイゼーションの実現●製品・サービスの一部効率化と新規領域への参入検討
	新たな価値提供モデルの確立	●コアコンピタンスの再定義(サービスマネジメント・データマネジメント)②グループ横断、エコシステムによる顧客提供価値の高度化●社会課題事業への継続的投資とアライアンスの強化
	事業プロセスの変革	◆サービスシフトを支える品質マネジメントの強化②プロセス標準化による実装、運用体制の構築●顧客起点での全社的カスタマーサクセス推進体制の確立
経営戦略	ユニリタグループ理念を軸とした 持続的な経営と価値創造	●UNIRITA Group Leadership Principles を軸とした理念経営への進化②事業戦略を推進する人的資本投資の加速●持続的な成長に向けたサステナビリティ基盤の強化

新中計「Re.Connect 2026」におけるユニリタグループの価値創造プロセス

今期でユニリタグループは9年目を迎え、グループ社員総数約700 名と大きな組織へと成長しました。これからは、自ら考え行動し、周 囲に良い変化を与える自律型社員による組織体を目指しています。 そのために必要となる軸として、私たちが「目指すべき姿」である Mission・Valueをグループ共通の理念 ULP (UNIRITA Group Leadership Principles) として新たに以下のように定めることで、ユニリタグループとして理念経営を実践していきます。



これまでのユニリタグループは、主にIT部門が抱えるIT課題、DX推進を支援する事業部門が持つ事業課題、そして地方創生、一次産業活性化、IT業界の慢性的な人手不足などといった社会課題の解決にチカラを注いできました。

新中計「Re.Connect 2026」では下図のように価値創造プロセスを 定めました。ユニリタグループのコアコンピタンスである「データマネ ジメント」「サービスマネジメント」の強みを活かし、「プロダクトサー ビス」「クラウドサービス」「プロフェッショナルサービス」に昇華させ、お客様に提供してまいります。また、「UNIRITAユーザ会」と「システム管理者の会」という2つのコミュニティを通じて、人材育成と異業種交流の場を提供し、IT業界全体の人的資本の向上に貢献します。

今後も、ユニリタグループは、これらの取り組みを通じて、お客様と 社会に対する価値創造を追求し、サステナブルな社会の実現を追求 していきます。どうぞ、今後ともユニリタグループにご期待ください。



ユニリタグループ新中期経営計画 「Re.Connect 2026」の 詳細についてはこちらをご覧ください。

https://www.unirita.co.jp/dcms_media/other/240514_medium-term-management_3-plan.pdf

株式会社ユニリタ



ユニリタは、新中計「Re.Connect 2026」における重要戦略を遂行するため、組織体制の強化を図ります。従来の組織横断型から、ユニリタグループ全体を視野に入れた横断型組織へと進化させるために、「グループ戦略推進室」を新設しました。今後は「グループ戦略推進室」を中心に、グループ各社の強みを活かした連携を強化し、新しいサービスの開発・提供を目指します。

PICK UP 📂 データドリブン経営

現在、多くの企業がデータドリブン経営の実践を求めています。データドリブン経営とは、データに基づいた意思決定を行うことで、ビジネスの効果を最大化するアプローチです。この潮流に応じて、ユニリタはユニリタグループの強みであるデータマネジメントとサービスマネジメントを活かしたデータドリブン経営を支援するサービスの提供を目指しています。

ユニリタのデータマネジメント技術は、データの収集、分析、可視化を通じて企業が正確で迅速な意思決定を行うための基盤を提供します。また、サービスマネジメントの専門知識を駆使して、効率的な運用管理とサービス提供を支える仕組みを構築します。この2つの分野を融合させることにより、企業はデータを効果的に活用し、ビジネスプロセスの最適化や迅速なサービス提供といった新たな価値創出を実現できます。

ユニリタは、これからも企業の競争力を高めるパートナーとして、お客様の課題解決を支援するサービスを提供していきます。

株式会社ビーエスピーソリューションズ



ビーエスピーソリューションズは、ユニリタグループの強みである、「サービスマネジメント/システム運用」に専門性を有するコンサルティング・ファームです。DXの時代、ビジネスモデルが「買う」から「利用する」サービスの時代へと大きく変化しています。

企業のIT部門の業務改善や品質向上、デジタルビジネスにおける事業拡大は大きなテーマです。

サービスの時代、システム運用やサービスマネジメントへの取り組みは避けて通ることはできません。おかげさまで多くのお客様からご相談をいただいています。

プロジェクトや開発には終わりがありますが、サービスと運用は作って終わりではなく、サービス提供しながら市場や利用者のニーズに合わせてさまざまな変化に応えていかなければなりません。

最近では、サービスマネジメントのノウハウと知見を活かし、データドリブン経営を目指すお客様に、構成管理を軸にアプローチするコンサルティング、クラウドサービスをご提供し、高くご評価いただいています。

「サービスマネジメント/システム運用」にかかるさまざまな困りごとについて、お気軽にお問い合わせください。



_{代表取締役社長} 藤原 達哉

PICK UP Blue Sheep

「Blue Sheep」は、販売して終わりという納品型のビジネスモデルから、サービスを通してお客様接点を持ち続け、組織横断型で構成管理を活用することによって、継続や利用拡大を支援するクラウドサービスです。

商談の成約から機器の設置、アフターサポートによるバージョンアップやリプレースまで、End to Endで構成情報を一元管理することによって、サービスを提供するお客様の事業課題を解決します。

コンサルティングからクラウドサービスの提供まで、ご興味ありましたらぜひお問い合わせください。



詳細はこちら

https://b-sheep.com/

株式会社無限



無限は、ユニリタグループの3つのセグメントの中で、プロフェッショナルセグメントに所属する「システムインテグレーション事業」と、クラウドセグメントに所属する「パッケージインテグレーション事業」の2つの事業を推進しています。

システムインテグレーション事業は、社会課題・事業課題・IT課題の解決に貢献すべく、ユニリタグループ製品を 最大限に活用したシステム開発を提供しています。

パッケージインテグレーション事業は、企業の働き方改革を強力に実現するために、「業務の効率化」「コンプライアンス対応」を実現しつつ「コスト低減」も達成できる「らくらく通勤費」サービスの展開を行っています。ご好評をいただいており、650社以上のお客様に利用いただいています。

無限は、これら2つの事業を通じて、お客様の課題解決とビジネスの成長を支援してまいります。



清水 宏太

PICK UP 📂 らくらく通勤費

「らくらく通勤費」は通勤費の管理に特化したクラウドサービスです。

2001年にリリース以来、650社以上に導入、85万人以上の通勤費の管理実績があります。ご利用の規模は100名~40,000名と幅広く対応しています。

一般的な人事給与システムでは管理しきれない「通勤費の管理」を行います。 「らくらく通勤費」は、会社が支払う通勤手当を5%削減、申請や管理にかかる 時間の8割短縮を実現します。社員の自宅住所と勤務地住所から通勤経路検索 ができ、経済的かつ合理的な経路の判断が容易になります。

通勤費の支給ルールが複雑、拠点数や従業員数が多い、通勤手段が多様で管理が煩雑という企業様で、人事総務担当者の皆様を中心にご利用いただいています。



詳細はこちら

https://rk2.mugen-corp.jp/lp/tuukin/

株式会社データ総研



データ総研は、唯一無二のデータマネジメント技術を発展・進化させながら、ユニリタグループ各社とともにデー タマネジメント人材の育成とデータインテリジェンスの実現を支援しています。

データマネジメント領域はそのマーケットを拡大しつつも、「攻め」と「守り」両面の対応が求められています。 特 にアドホックなデータの活用促進に必須となる「マスターデータの統制」は、待ったなしの状況にあります。

マスターデータマネジメント(MDM)を絶対に失敗したくないユーザー企業様、SI企業様へ、新設の教育・研修 コースを提供しています。

このコースは、長年のコンサルティング支援で培われたノウハウの集大成である書籍「DXを成功に導くマスター データマネジメント」の執筆者自身による直接指導、ケーススタディを通じたディスカッション、ワークショップによっ て実践力を身につけることができる、本格的なMDMの研修となります。



代表取締役計長

佐藤 幸征

https://jp.drinet.co.jp/school/mdm-practice

MDMコンサルティング PICK UP

データ総研の「MDMコンサルティ ング」の主な役割は、

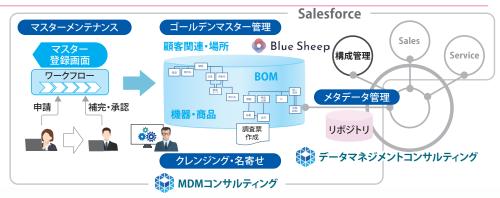
- ・マスターデータ構造整備
- ・マスター管理体制と役割の整備
- 運用フロー整備

になります。

詳細はこちら

詳細はこちら

https://jp.drinet.co.jp/consul/ solutions/mdm



株式会社ユニリタエスアール



ユニリタエスアールは、2021年4月1日に設立して3年が経ちました。 これも一重に多くのお客様にご支援いただ いているおかげであると思います。この場をお借りして感謝いたします。

ユニリタエスアールは、お客様業務のアウトソーシング業務や、マイグレーション業務などのサービスを提供し ています。事業の性質上、お客様と距離が近いところで活動しており、お客様からの問い合わせの表面だけを捉え るのではなく、お客様が解決したい本質を捉えること、障害発生時にはいかに適切な初動対応を行うこと、さまざ まなお客様に対して臨機応変に対応することを重視しています。

ユニリタエスアールでは、決められた仕事を淡々とこなすのではなく、「お客様に寄り添い」「お客様の利益に貢 献する」という考え方のもとに活動を続けています。いまだ至らない点、改善すべき点はあると思いますが、その際 にはご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



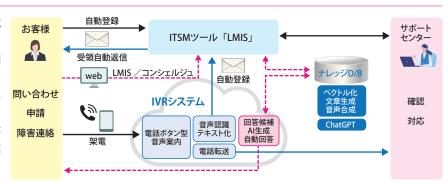
代表取締役社長 小池 拓

サービスデスクサービス PICK UP

IT部門のサービスデスクは、オペレーター対応 に加えて業務の自動化を推進しています。

「サービスデスクサービス」では利用者からの問 い合わせを自動応答機能で処理し、音声データを テキスト化してインシデントを自動登録また、ITSM ツールで一元管理します。

さらに、ナレッジDBやAIを活用した自動回答 で、人為的なミスを防ぎ、インシデントの早期解 決を目指します。



詳細はこちら

https://www.uniritasr.co.jp/service_desk/

株式会社ユニ・トランド



ユニ・トランドは、ユニリタグルーブにおける社会課題解決事業の推進を担い活動しています。

日本においては、人口減少と高齢化社会の進行によりさまざまな課題を抱えています。我々は、「移動」の社会課題解決にフォーカスし、最新技術やサービスを提供し解決に導く事業を展開しています。

「移動」とは人(人流)のみならず、物(物流)についても、さまざまな「移動」が社会課題として顕在化してきています。 課題を解決するには、データに基づいた議論が必要であり、最近ではEBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング)と呼ばれる、エビデンスに基づく政策立案がそれに該当します。我々は人流や物流の課題解決に、さまざまな移動体(公共交通や物流車両等)にセンサーを取り付け、利用者の利便性を向上しつつ、データを収集し可視化し分析する基盤を提供し、地方公共団体の移動体におけるEBPMを推進し実現につなげていく企業です。何卒、よろしくお願いいたします。



高野 元

PICK UP Community MaaS

ユニ・トランドは、データ収集から分析までのサービスを統合し、「Community MaaS」というコンセプトを立ち上げており、住民の移動について利便性を向上しつつ、定量的なデータを収集し、将来的な持続的交通網の再構築につながるサービスを立ち上げました。

第一弾として、2023年度に国のデジタル田園都市国家構想事業の採択を受け、市民の交通利用者のサービス向上とデータ収集と他方公共団体サービスの向上にもつながるMaaSをリリースしました。従来の交通中心のMaaSから一歩進み、マイナンバーカードと連携し地方公共団体のさまざまなサービスを連携することが可能である、「Community MaaS」コンセプトを実現することに成功しました。現在は多数の地方公共団体において提案・採択・実施中です。



詳細はこちら

https://www.unitrand.co.jp/news_post/2024/0306_press01

株式会社ユニリタプラス



ユニリタプラスは、西日本地域のお客様を担当する会社として発足し、今年で創立8年目を迎えました。我々の強みは「徹底的な顧客視点」にあります。

ユニリタプラスのミッションは『お客様の立場になって課題解決する「サクセスパートナー」であること』です。単に製品やサービスの提供にとどまらず、これまで培ったノウハウと最新技術、さらにはパートナー様との連携を活用し、最適なソリューションを提供することで、お客様のビジネスの成功を支援します。さらに、ユニリタプラスでは、社員一同がお客様との関係性を特に大切にしており、製品やサービスを導入いただいた後も手厚いサポートを提供しています。

お客様と共により良い明日を目指し、常に最善を尽くしてまいります。



小野 俊治

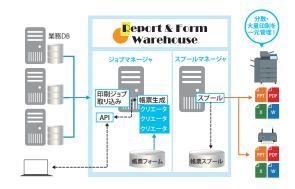
PICK UP Report & Form Warehouse

「Report & Form Warehouse (以下R&FW)」はユニリタプラスの帳票ソリューションです。帳票基盤として多くのお客様にご利用いただいています。2023年度よりクラウド型サービスでのご提供を開始しました。

「R&FW」は大規模システムにも対応しており、大型汎用機のダウンサイジングでは高パフォーマンス、ユーザビリティを評価いただきご採用いただいています。

詳細はこちら

https://www.unirita.co.jp/products/rfw.html



株式会社ヒューアップテクノロジー



ヒューアップテクノロジーは、主に人材ビジネス業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)を支援するため、 オールインワンの総合HRMシステムを提供しています。

ヒューアップテクノロジーが提供している「The Staff-V」は、派遣会社の中核業務を支援する総合管理システムと して活用されています。5年前までは「The Staff-V」のクラウド環境での利用率は1%に満たない状態で、主にオンプ レミスで利用されていました。しかし現在は30%を超えるお客様がクラウド版に移行し、クラウド環境の利点を最 大限に引き出すための周辺サービスを随時追加することで、総合HRMシステムとして全方向のクラウドサービスへ と進化を続けています。



代表取締役 社長執行役員

吉田一也

PICK UP

AppInvoice(アップインボイス)

2024年10月には、普通定形郵便が1通あたり26円も値上げされる予定です。 さらに、「2024 年問題」と呼ばれるトラックドライバーの時間外労働規制の強化があり、この影響で郵便配達の 遅延も課題になっています。

この社会課題をITで解決するため、Web上での請求書発行/配信サービス「AppInvoice」をリ リースし、「The Staff-V」から発行された請求書を簡単にWeb配信できるようになりました。請求 書をすぐに受け取り、過去の請求書も簡単に検索できます。また、人件費や郵送費の削減、 ヒューマンエラーのリスク低減が期待できます。



詳細はこちら

https://www.huapp.co.jp/service/appinvoice/

新バージョンのご紹介

「LMIS」が生成AI「ChatGPT」との 連携機能をリリース







ユニリタが提供するサービスマネジメントプラットフォーム 「LMIS」は2024年5月に「ChatGPT」との連携に対応したバージョ ンをリリースしました。

本機能では、「LMIS」に蓄積されたインシデント管理のレコー ド情報を元に、「ChatGPT」がインシデント情報を検索し、類似 のインシデント情報をサジェストします。類似度をスコア表示す ることで、利用者も複数のサジェスト情報をもとにして、インシ デントを解決に導くことが可能です。

また「FAQ作成支援機能」では、過去のインシデント管理の チケットから、FAQの「質問と回答」の候補を作成することも可 能であり、エンドユーザーに公開するFAQの質と量を飛躍的に 向上させます。「LMIS」は今後もさまざまなサービスとの連携 の実装を検討しています。ご期待ください。

提供機能

類似のインシデント情報のサジェスト機能

レコードサジェスト(インシデント管理) スコア 管理番号 タイトル 7196 INC-0000016 【ご確認依頼】 LMIS Salesforceからの「要 6996 INC-00000011 Salesforceからの通知について INC-00000023 【ご確認依頼】 他社連携されている項目を 69% 62% INC-00000012 定期ジョブレコード 項目名変更方法 INC-00000004 【お問い合わせ】LMIS画面ラベル表示に関 6196

「LMIS」に蓄積されたインシデント管理のレコードを元に 類似のインシデントをサジェストし、スコア化

FAQ 作成支援機能



過去のインシデント管理のレコードからFAQの「質問と回答」の候補 を作成。作成したFAQを「セルフサービスポータル*」や「LMIS/コン シェルジュ*」に公開することで、エンドユーザーの自己解決に貢献

詳細はこちら https://www.lmis.jp/)

※「セルフサービスポータル」および「LMIS/コンシェルジュ」は「LMIS」のオプション機能です。

システム 管理者の会

第18回「システム管理者感謝の日イベント」 開催決定!



システム管理者の会は、個人会員19,000名以上、賛同企業400社以上の日本最大規模のシステム管理者のネットワークです。システム管理に携わる方を対象に、生き生きと働ける環境づくりと、幅広い知識や技術力の習得を支援しています。 この度、例年7月に行われる恒例のイベント「システム管理者感謝の日イベント」の開催が決定しましたのでご案内します。



開催概要

日 程:7月10日(水)

開催場所:日経ホール(東京都千代田区大手町1-3-7)

費 用:無料

詳細な情報やお申し込みはこちら

https://www.sysadmingroup.jp/event_seminar/thanks_day/year-2024/

今回のテーマは

「新たな可能性を見出す、AIとヒト、サービスマネジメントの共存」

「システム管理者感謝の日イベント」とは、賛同企業を中心に、システム管理者やサービスマネージャーの方にお集まりいただき、スキルアップなどに役立つ講演や、日頃からの感謝の気持ちを伝えたり、活躍を表彰して功労を明らかにしたりする活動を「システム管理者アワード」として表彰しています。

今年も昨年同様に大手町日経ホールにて集合型イベントを開催する運びとなりました。イベント終了後には来場者様の中から抽選で懇親会にご招待をする予定です。また、Webでのリアルタイム配信も予定しています。

今回のイベントメッセージ

Al技術の進歩は、人々の未来を大きく変革させ始めており、ドキュメント生成に始まり、自動化による業務効率化、個別ニーズに合わせた迅速な対応など、Alは多方面で人々を支援しています。今後は、Alを活用したデータ分析に基づいて、顧客の潜在ニーズを掘り起こし、先回りした提案を行うことが可能になります。また、顧客とのコミュニケーションを自動化することで、サービスマネージャーはより付加価値の高い業務に集中できるようになり、戦略的かつ創造的な業務へとシフトしていくことが求められると思います。

本イベントでは、サービスマネージャーがこのAI時代に何をすべきか、どのように価値を高めてサービスを提供し続けるのかを考える考えるきっかけを提供いたします。

プログラム

基調講演登壇者(予定)

経営アジェンダ化する生成 AI:管理から投資へのステップアップ 石井 大地 氏(株式会社グラファー 代表取締役)

デジタル変革と連動して共存する人財の育成戦略とは 花田 琢也 氏(日揮ホールディングス株式会社専務執行役員 CHRO)

「ITSM/IT サービスマネジメント」で、ヒトが企業の未来を切り開く 藤原 達哉 氏

(株式会社ユニリタ 取締役 常務執行役員 サービスマネジメント本部長 兼 株式会社ビーエスピーソリューションズ 代表取締役社長)

第7回システム管理者アワード授賞式

NSW 株式会社、他複数社

過去のイベント動画やセミナー動画はこちら

前回のシステム管理者の会感謝の日イベント 「もう、システム管理者なしではビジネスできない~No Administrators, No Business.~」の動画をご覧いただけます。

詳細は、 こちらへ。

https://www.sysadmingroup.jp/event_seminar/movie/

※動画のご視聴については、事前の個人会員登録が必要となります。



www.unirita.co.jp

株式会社ユニリタ

本 社 〒108-6029 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟 名古屋営業所 〒451-0045 名古屋市西区名駅3-9-37 合人社名駅3ビル

ユニリタグループ

株式会社ヒューアップテクノロジー / 株式会社ビーティス / 株式会社データ総研 / 備実必(上海)軟件科技有限公司 / 株式会社ビーエスピーソリューションズ / 株式会社ユニ・トランド / 株式会社ユニリタブラス / 株式会社無限 / 株式会社ユニリタエスアール

※ 本誌掲載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

※ 掲載されている内容については、改善などのため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。